

脳性まひ者の 二次障害語る

七尾 講演や情報交換会

脳性まひの二次障害に
ついて説明する平井さ
ん＝七尾市青山町で



脳性まひ者が年齢と
ともに発症する首の痛

見事3000株

職能短大で満開

ツジが満開となり、ピ
ンクや白色の花が咲き
誇り、訪れる人の目を
楽しませている。

開校当初から植えら
れ、学生も周囲を定期
的に掃除している。晴
れた日には、花の匂い
が玄関前の駐車場に立
ち込めるといふ。

同大の降旗英明能力
開発部長は「昨年、肥
料を入れたせいか、今
年はよく咲いた。学生
が掃除してくれるのも
うれしい」と話してい
た。見ごろは今週末ご
ろまで。

(宮畑讓)

満開となって咲き誇るツ
ジ＝穴水町由比ヶ丘で

みや手足のしびれなど
の二次障害を考える講
演会が二十五日、七尾
市青山町の青山彩光苑
ライフサポートセンタ
ーで開かれた。

センター利用で脳
性まひ者の桶屋善一さ
んが委員を務める「H
SK季刊わたぼうし編
集委員会」が主催し、
利用者や職員ら約二十
人が参加した。

自立生活支援センタ
ー富山(富山市)の理
事長で、脳性まひ者の
平井誠一さんが講師を
務めた。二次障害の発
症時の様子や手術の経
過、リハビリの体験を
語り、「手術は早めに
受けた方がいい」と医
者から受けた助言を紹
介した。

講演会后、医者や作
業療法士らも交え、二
次障害についての情報
交換や悩みを語る懇談
会も開かれた。

(福本英司)